

基本情報

需要家	株式会社ヨークベニマル
事業の実施場所	栃木県宇都宮市
施設の名称 (需要家の法人名 + 建物の名称)	株式会社ヨークベニマル ミライト一条店
太陽光発電設備の導入方法	オンサイトPPAモデル
導入設備	太陽光発電設備：478.74kW（太陽光パネルの出力） 299.5kW（PCSの定格出力） 定置用蓄電池：163.6kWh（蓄電容量）
稼働開始時期	2026年1月から発電開始
総事業費（税抜）	非公表
平均の年間CO ₂ 削減率（削減量）	25.38%（152.79t-CO ₂ /年）

事業目的・概要等

- ・宇都宮市が公募した「一条中学校跡地民間提案施設整備事業」の事業者として同社が決定。本事業地に運営する複合施設「ミライト一条」の地域社会への貢献の一環として、災害時に必要なエネルギーを確保するため、太陽光発電と大容量蓄電池を導入。
- ・太陽光発電設備は店舗での自家消費 + 蓄電池への充電容量を加味して、屋根上に設置できる限りの太陽光発電容量を選定。
- ・蓄電池は、平時においては、日中、太陽光発電の余剰分を充電、他時間帯に放電することで再エネ率向上に寄与。また、災害時には、店舗の運営継続および地域住民への開放に必要な最低限の重要負荷（照明、コンセント、店舗のPOSレジ等）を選定し、日没後に被災したとしても翌朝の発電開始まで重要負荷へ電力供給可能な容量を選定。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

- ・株式会社ヨークベニマルは1947年の創業以来、福島県を中心に数多くの店舗を展開し、現在では248店舗を構える食料品を中心としたスーパーマーケットである。（2026年3月末日在）
- ・環境問題に対する社会課題解決の為、CO₂排出量削減を積極的に推進しており、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』において、店舗運営に伴うCO₂排出量を2013年度比で2030年度までにCO₂排出量50%削減、2050年度までに実質ゼロを目標に掲げ、省エネ・再生可能エネルギーの利用拡大を進めている。
- ・2024年度までに計113店舗に太陽光発電設備を設置。設置可能な店舗への導入はほぼ完了し、今後はこれまでの太陽光発電設備導入による効果や影響について検証を重ねながら、新店を中心に計画的に設置店舗を増やしていく予定。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



上段：パワーコンディショナー/下段：変圧器



蓄電池